



さいたま新都心に一番近い学校

# 下落合小だより

学校目標 よく考える子 思いやりのある子 明るく元気な子

令和 6 年 6 月 号  
令和 6 年 6 月 1 日  
さいたま市立下落合小学校  
電話 852-2280  
FAX 852-0188  
E-Mail  
shimoochiai-e@saitama-city.ed.jp

## 心をこめる

校長 小田切 倫子

6月になりました。1年生が植えたアサガオや、2年生が植えた野菜の苗が、勢いよくぐんぐんと生長しており、元気いっぱいな下落合小学校の子どもたちの成長と重なります。

先日、業間休みに校庭に出ると、1年生がアサガオに水やりをしていました。ある子が、「校長先生、見て～！」と私の手を取り、自分の鉢のところに連れて行ってくれました。鉢をのぞいて見ると、かわいらしい芽が5つ出ています。「すごいね！」と言うと、とても嬉しそうな表情。その後も、たくさんの子どもが、次から次へと自分の鉢のところに案内してくれ、得意げに見せてくれたのでした。これは、1年生の子どもたちが自分の植えたアサガオを「心をこめて」育てているからこそその行為です。

### 心をこめる

心は 言葉で表そう  
心は 態度で表そう  
心は 形に表そう

左は、5月の講話朝会で話した言葉です。“心”は目には見えません。“心”は、「言葉」や「態度」「形」に表すことで相手に伝わります。「心をこめる」ことで、単なる『作業』ではなく『価値のある活動』になるのです。

話を聞く、字を書く、作品を作る、掃除をするなど、日々の学習や生活の様々なことも、「心をこめる」ことで、意味深いものとなるのではないのでしょうか。何かに取り組むとき、「がんばろう」「きれいにしよう」「相手に喜んでもらおう」といった“心”をこめ、そのことを「言葉」や「態度」、「形」に表すことが、すばらしい結果につながると考えます。例え思うような結果にならなくても、“心”をこめて行ったなら、その過程に大きな意義を見出すことができるはずです。

下落合小学校では、日常の様々な活動にどのような“心”をこめさせるかを大事にしなが、教育活動を展開してまいりたいと思っています。子どもたちが心のこもった行いができるよう、家庭や地域の皆様の御指導を、引き続きよろしく願いいたします。

さいたま市では、6月をいじめ撲滅強化月間とし、市を挙げていじめ撲滅に向けて取り組んでいます。本校でも、学級ごとにスローガンを話し合ったり、児童会を中心としたあいさつ運動などを実施したりして、子どもたちのいじめ撲滅に向けた意識を高めてまいります。

また、日々の起こる様々な出来事にしっかり向き合い、子どもたち同士の関わりを大切にしながら対応してまいりたいと思っております。心配なことがございましたら、どうぞ早い段階で御相談ください。